

小児における抗 RSV 抗体レベルの推移に関する研究

1. 研究の対象

2021年4月～2027年3月末の期間に当院において RSV 感染症と診断され診療目的で採血された18歳以下の方

2. 研究目的・方法

RSウイルスは、急性呼吸器感染症をおこすウイルスの1つで、新生児・乳児が感染すると重症化しやすいため注意が必要な感染症です。重症化の予防のため妊婦にワクチン接種し母子免疫を通して児を守る方法や乳児にモノクローナル抗体を投与する方法があります。また、多くのヒトは、2～3歳までに1度はRSウイルスに感染しますが、再感染を繰り返すこともあります。感染後に抗体価は上昇しますが、その後は徐々に後退していくためと言われていいます。しかし抗体のレベルの変化の傾向は臨床症状やリスク因子などとの関連は不明です。そこで、RSウイルスに感染した症例の抗体価レベルの推移と、臨床背景との関連について検証することを目的とした。

実施期間；2024年9月から2027年3月末まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類（診療録からわかる範囲のみ）

情報；採血日、RSV検査結果、年齢、性別、居住地（市、郡のみ）、呼吸器症状、服薬の有無、ワクチン歴（インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン、新型コロナウイルスワクチンのみ）、基礎疾患、同居人、入院状況

試料；血清

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立病院機構 三重病院 臨床研究部

研究責任者 Simbeya Anthony、根来 麻奈美、谷口 清州

三重県津市大里窪田町 357

059-246-6264